

十年計画で開発

林道新設20路線 公団と公共事業で計画 〔県内〕

阪神・中京へも大きな影響
産業の面でも、全国平均比へ、生活水準を下回るといはる。
第一次産業（農、林、水産業） 國民経済への貢献度はどの程度か。
田畠が狭く、その他の耕地面積も下廻るといふ。生産力の低下は、阪神や中京商業地帯にも後進地域である。特に住民の大半は影響があたつてゐるといふ所徳。消費はともに標準平均未だない。

△開発の目標△

一方、高齢多雨の影響で、豊富な水力資源と森林資源をもつたが、未開拓のままで放置され、いつの間にか開拓して生産を増強し、住民の

△開発の目標△

開拓の重點は、
①流域の整備といふ。
△流域の重點は、
②流域の整備といふ。
△流域の重點は、
③水資源の活用、災害防除のための大気汚染の問題。
△流域の重點は、
④水路による國交保全促進である。
△流域の重點は、
⑤交通施設の整備を促進する。
△流域の重點は、
⑥水資源の活用、災害防除のための大気汚染の問題。
△流域の重點は、
⑦水路による國交保全促進である。

日本の農業の約一・八倍に 三越川道 四五〇所 大きな松根(九寸) 鶴羽(六寸) 朝鮮する一七七

四河川で17億

この地域は災害の進路 當部防護業として約十九億七千
万円が計画されており、本県で
林、水産を中心とするは、日高川、富田川、吉野川、
牛窓松江などである。太田川、

十萬石 級の川越で開発
農業のうち、国營が
んがい排水事業がその
主なものである。約三
十六億六千万円で干溝
川に繋えん堤、紅の
川に津風呂、大迫、山
田の各えん堤を作り、農業用水
を確保して、地域外（奈良、平野）

灌漑排水に重点

十一億三千円である。
業をもさせて、和歌山地域で約
三万石の森林開発会社と
和歌山県関係では、二級国道新
宮一大和高線に九千五百余万
円の事業計画であるが、この計
画が一層の森林開発会社の責任

（註解）
以上は調査の上計画を決定した。左は調査を果し上記の
素題であるといひたい。即ち、紀元後二千四百一十五年
主張する者田辺一太郎一派は、調査を調査の上計画を決定
線も調査事業などないといふ。ほんといふ。

近畿縦貫鐵道新設に付し、三十一年度
より三十四年度までの鐵道計画は、八千万円が計画され、そのうち三十一年度から三
年の（道頓整備五六年計画）大阪、名古屋を結ぶ近畿半島の
ものである。三十一年度は、

3. 釜臥川実現工程 川丈・中辺路の連絡

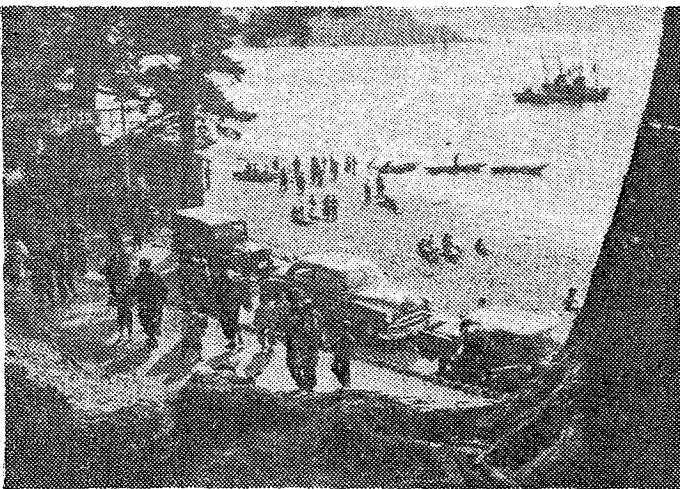
水を確保し、あるいは蓄電池の効果を發揮したことによる。古庭川はすでに完成して、その水調節のあおりでいかんが、古庭川ばかりではなく、市町村に気象観測事業を始め六十六カ所に水理測量を約八千万円で実施して、計画である。なお港湾整備局は、計画は、事業計画を調査しながら、新宮港、古庭港など、七港の各総合開発事業として、三十一、以降の事業費約一千八億三千に、防砂堤、胸壁などの海岸工事を計画するとしている。新宮市は、金を含む)が計画されている。ねどこのが、新宮市をばらのないところ。

This block contains a single horizontal strip of film grain, which is a characteristic noise pattern in analog video recordings. It is positioned at the bottom of the frame.

添加物(色素など)は検査を受けた製品を使用しましょう。不良食品や不良添加物など不審なものを発見したときは至急保健所へ連絡し

添加物(色素など)は検査を受けた製品を使用しましょう。不良食品や不良添加物など不審なものを発見したときは至急保健所へ連絡してください。

卷之三



田有西公園

右田版

多年の宿願成る

栖原海岸で祝賀式

西

立

公

園

有

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

版

右

田

高御坊版

正月用の
松飾は止め
ま せ う

非常連絡 防犯ベルを取付け

「御坊署」年末警戒に万全

大資源開発に偉力

林道丹生ノ川線いよいよ着工

奥高と丹生川を結ぶ林道の開設で、紀伊山脈に眠るほんたな森資源の開發を計画して一年いま、林道神丹生ノ川線千五百㍍の新設で、架橋構の架設工事が実現する運びとなった

県直営工事として総費約三千円で施工するもので、明春二月に完了する。これで奈良県境へ二千九百㍍の地主で接続することになり、丹生ノ川流域はもとより奥地資源の開發や、十津川との連絡など期待が多く、特に奥高

成して熱心に「奥高の開拓」を叫んでいた地元民の臺ひどい福社増進、経済効果といいう点で大きなものがある。

また、近年の木材バルブ、木材

糖化半業など林道沿線の針葉樹

約百四十九万石、広葉樹約四百

万石の利用上の問題などを特

別に、近年の木材バルブ、木材

糖化半業など林道沿線の針葉樹

約百四十九万石、広葉樹約四百

万石の利用上の問題などを特

西牟婁・田辺版

消したはずでは
あぶない火元

生きやすい台所

牟婁町 西郷改善友の会

牟婁町上芳養西郷友の会が第1回新生活モデル町の第五部門（住生活の改善）で県下第一位に入賞、十一月十五日に小野知事から賞状をうけた。西郷友の会会長谷八重子さんとが誕生してから四年になる。戦後の山林の整備によって山村とほりとも薪炭材が不足して婦人の勞働量が多く、それに公民館活動が低調であったため、何とか自分たちの力で農村生活の合理化をはかって新しい村づくりをやろうと奮闘したものと、先進地を視察して自分の目で見、自ら計画して実行した。カマドは志賀式を採用、はじめは公民館分館内生活改善を実現する道で一歩を踏みだした。自

らには必ず自前の改善からだ

こなったものも数多かった。

この改善には、友の会会員足と同

時に貰い一人につき一ヶ月一百円の貯金を実行してきだが、この貯金が、他の生活改善も

りづつと大きくなり、急に会員間

で改善意欲が高まつてしまつたとい

う。そのほか技術を修得しない

技術を修得された。これによ

て専門技術者と連携されるよ

りづつと大きくなり、急に会員間

で改善意欲が高まつてしまつたとい

う。そのほか技術を修得しない

技術を修得された。これによ

</div

